



TITLE:

観象雑感(2)

AUTHOR(S):

改發, 香塢

CITATION:

改發, 香塢. 観象雑感(2). 天界 1939, 20(223): 25-25

ISSUE DATE:

1939-10-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167890>

RIGHT:

非常に高率に達した。

| 南北兩半球の比率 | 津留 | 木邊 | 山田 | 杳掛 | 阿部 |
|----------|------|------|------|-------|------|
| 南 | 86.7 | 75.3 | 81.2 | 104.2 | 74.2 |
| 北 | 35.9 | 34.8 | 35.3 | 38.8 | 30.5 |

平均に依れば南 1.00 に對し、北 2.40 即ち南 71%，北 29% となり著しく南に偏した。

其他 杳掛氏より各黒點群の概略緯度報告、右に依れば左程著しい高緯度群の出現は認められない。月始めに出現した小群が、杳掛氏北30度、津留氏北28度と測定されて居るのみである。

他にスケッチの報告を津留氏より一枚、阿部氏よりは太陽面上の黒點位置をば、各日毎に可なり正確に撮影に従つて報告された。今後各群の緯度を自分で測定される事を望む。

猶ほ岡村氏、島崎氏及び横濱すばる會よりも南北分け及肉眼群の報告があつた。今後は自身で平均を纏めて欲しい。(木邊)

觀 象 雜 感 (2)

北 斗 頭 垂 寂 四 隣
タリ
 群 星 燦 爛 自 無 塵
トシテ ラ シ
 會 心 長 夜 眼 光 牙
、 ユ
 望 遠 鏡 前 求 理 人

昭和十四年六月

神戸關守畔 改 發 香 塢